

令和3年度 第1回 印西市公民館運営審議会定例会 会議録

1. 開催日時 令和3年10月27日(水)  
午後2時00分～午後3時30分
2. 開催場所 印西市立中央公民館 5階講堂
3. 出席委員 15名  
門脇委員、泉水委員、佃委員、見山委員、嘉藤委員、富井委員、青山委員、中嶋委員、伊東委員、豊田委員、長尾委員、美馬委員、常光委員、池田委員、白井委員
4. 欠席委員 なし
5. 事務局 鈴木生涯学習課長、斎藤生涯学習課推進係長、染谷中央公民館長、岩井小林公民館長、篠原印旛公民館長、高橋本埜公民館長(そうふけ公民館長兼務)、中嶋中央駅前地域交流館長、糸賀中央公民館指導班主査
6. 傍聴人 なし(定員5名)
7. 議 事 議 事  
(1) 報告事項  
令和3年度上半期公民館等事業実施状況について  
(2) 審議事項  
令和4年度公民館等事業実施方針について

8. 会 議 録

進行	<p>本日は、公私ご多忙のところ令和3年度第1回印西市公民館運営審議会定例会にご出席いただきありがとうございます。</p> <p>本日、進行を務めさせていただきます、中央公民館の糸賀と申します。どうぞよろしくお願い致します。</p> <p>まず、会議資料の確認をさせていただきます。事前に配布させていただきました会議資料でございますが</p> <p>1点目、会議次第</p> <p>2点目、報告事項 令和3年度上半期公民館等事業実施状況について</p> <p>3点目、審議事項 令和4年度公民館等事業実施方針について</p> <p>このほか、本日、配布いたしました、名簿、席次表及び「新型コロナウイルス感染減少期における印西市立公民館及び中央駅前地域交流館の運営方針」でございます。不足等はありませんか。よろしいでしょうか</p> <p>また、6月23日に開催いたしました臨時会で、委嘱書の交付を行いました。所によりご欠席されました門脇委員、佃委員及び伊東委員には自席に委嘱書をお配りしてありますのでご確認願います</p> <p>それでは、令和3年度第1回印西市公民館運営審議会定例会を開会させていただきます</p>
----	--

	<p>きます。本日の会議の出席者は15名（欠席者0名）ですので、印西市立公民館の管理及び運営に関する規則第15条第3項の規定により、過半数に達しておりますので、本会議が成立しておりますことをご報告いたします。</p> <p>なお、本会議は印西市市民参加条例第11条第4項及び同施行規則第11条の規定に基づき、公開となります。また、会議の公開ということで、傍聴席の設置と会議録作成のため、録音をさせていただきますので、あらかじめご了承くださいようお願いいたします</p> <p>なお、本日傍聴者はおりませんので、このまま進行をさせていただきます。</p>
進行	<p>次第の2 公民館運営審議会委員長挨拶ですが、常光委員長よりご挨拶をお願いいたします。</p>
委員長	<p>皆さんこんにちは。本日は雨の中、委員の皆さま全員がご出席いただきありがとうございます。6月に臨時会をさせていただいたところではありますが、8月から急激にコロナウイルスの感染がございました。しかしながら、10月に入りまして収束の傾向を示しており、ある程度、皆さんも安心してご出席できたのではないのでしょうか。</p> <p>本日は、令和3年度上半期公民館等事業実施状況及び令和4年度の運営方針についてご審議いただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
進行	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、これより議事に入らせていただきます。議長には、印西市立公民館の管理及び運営に関する規則第15条に基づき、常光委員長をお願いいたします。常光委員長、よろしくお願いいたします。</p>
議長	<p>それでは、議事進行を務めさせていただきます。お手元の次第にそって議事を進めさせていただきます。</p> <p>始めに「議事録署名委員の指名」についてですが、今回は「嘉藤委員」を指名させていただきますので、よろしくお願いいたします</p>
議長	<p>次に議事の（1）報告事項「令和3年度上半期公民館等事業実施状況について」を議題とします。事務局の説明を求めます。</p>
中央公民館長	<p>それでは、令和3年度上半期公民館等事業実施状況につきましてご説明させていただきます。まず、全体的なことといたしまして、資料にも記載しておりますが、昨年度からのコロナ禍にあつて感染拡大防止対策を講じつつ各種事業を展開してきたところでございます。</p> <p>しかしながら、令和3年8月2日に緊急事態宣言が発出され、2回の期間延長があり、結果として8月2日から9月30日まで緊急事態宣言下での公民館運営を行ってまいりました。この期間中については、以前から行っていた感染拡大防止対策は継続しながら、夜間開館について1時間短縮した対応といたしました。</p> <p>このような状況の中、「主催事業」「団体育成事業」「個人学習支援事業」「貸館事業」の4つを柱に行ってまいりました。なお、そうふけ公民館については、令和3年</p>

5月から大規模改修工事に着手したため、4月のみ開館いたしましたが、それ以降、事業は実施しておりません。これらを踏まえまして、令和3年度上半期公民館等事業実施状況について報告をさせていただきます。

まず、「主催事業」でございます。各館の最初に記載してあります表でございますが、左側の欄は令和3年3月に開催いたしました、公民館運営審議会における令和3年度主催事業計画で提案した内容を記載し、右側の欄は、今年度に入り実際に事業を実施するにあたり中止や変更となった事項を記載してあります。また、9月末日時点で作成しておりますので、本日の審議会時点ではすでに実施しているものもありますが、10月1日以降に実施するものには、※予定と表記してあります。

それでは、各館から上半期の主催事業の実施状況について説明いたします。

中央公民館長

1ページをご覧ください。中央公民館ですが、当初計画では「子ども対象事業」を4事業、「大人対象事業」を5事業計画いたしました。やはりコロナの感染拡大防止対策のため「子ども対象事業」2事業を中止するとともに、大人対象事業の「手賀沼講座」の回数を5回から3回に見直しして実施することといたしました。

まず、「子ども科学教室～地面すれすれグライダーを作ろう～」でございますが、コロナ禍にあって定員を12名と絞って募集いたしましたが、14名の参加をいただき開催いたしました。当該事業のねらいは、科学の面白さを原理や工作を通して学ぶもので、その指導にあたっては千葉市科学館の職員にお願いいたしましたが、教員出身ということもあり、子どもたちに対する指導方法や事業の運び方など公民館職員としても学ぶべき部分がたくさんあったと報告を受けております。

次に2ページをご覧ください。「ぶちシアター」ですが、学童保育施設に出向いて上映会を計画しましたが、コロナ禍にあって施設に暗幕を張って実施することについては、3密を避けることが難しく、コロナ感染リスクが高いと判断して、中止としたものです。

次に「創作講座子ども工作教室～天然木と糸でかわいいストラップづくり～」ですが、親子の参加も可として17名の参加を得て開催しました。参加者はほぼ親子参加で、同一作業をすることでスキンシップも図られ、また、家庭に帰っても、同じ話題とすることができるなど、いろいろな意味で効果もあった事業でございます。

次に3ページをお願いします。「手賀沼講座—自然と歴史—」のオープニング講座として、手賀沼船上観察会でございますが、当施設が設置されている地域性を踏まえた事業で、6ページに記載の手賀沼講座のオープニングとして計画いたしましたが、緊急事態宣言の発令によって船の運航が中止されたことから、同事業も中止いたしました。

次に「いきいきカレッジ」でございますが、シニア世代の方々の学習意欲の向上や仲間づくりのきっかけなどを目的に7回コースで、15名の参加を得て実施しております。なお、プログラムは健康・防犯・認知症予防・創作活動・歴史などとし、実技や講義を取り入れて学習していくものです。

次に「防災講座わが家のマイ・タイムラインをつくろう」ですが、この事業も当施設の設置されている地域の特性を加味した事業で、利根川を抱える当地域において水害から身を守るため、余裕をもって安全に避難するために「マイ・タイムライン」の作成方法などを学んだもので、18名の参加を得て実施いたしました。なお、当該事業は、利根川流域に位置する、小林公民館及び本埜公民館委おきましても同様の

事業を実施しております。

次に4ページをお願いします。「健康体操～無理せず、楽しく、体を動かそう～」でございますが、こちらは3回コースで前期・後期の2事業として開催するもので、前期は終了しましたが、これから後期事業が始まったところでございます。前期及び後期とも同内容での実施としたのは、当初30名定員で5回コースのカリキュラムを想定していましたが、コロナ禍で定員を縮小するとともに、多くの参加が見込める環境を整えることから、2回に分けて実施することとしたものです。なお、参加者は前期15人、後期22人となっております。

次に5ページをお願いします。「創作講座大人のものづくり教室～カカオウッドと天然石でブレスレットづくり」及び「創作講座冬の苔玉づくり～雪割草の苔玉づくり～」ですが、自然のものをちょっとした加工することによって、新たなものに生まれ変わるといふ、創造力や発想力を養ってもらうものです。なお、「カカオウッドと天然石でブレスレットづくり」は、先日開催し14名の参加を得て開催したところでございます。

次に6ページをお願いします。「手賀沼講座―自然と歴史―」ですが、子ども対象事業にありますオープニング講座も含め、本地区が手賀沼や利根川といった水辺とのかかわりの中で歴史を積み重ねてきた地域特性を踏まえ「手賀沼」をキーワードに歴史・社会・環境を総合的に学び、地域理解、ふるさと意識を育み、これからのまちづくりを考えてもらう機会としようとして計画したもので、今年度はオープニングを含め全6回の開催を予定しました。しかしながら、コロナ禍にあつて、オープニング、第1回及び第2回を中止としましたので、10月以降の3回の開催となるものです。当該事業は、回ごとに定員を定め募集し、それぞれの「ねらい」に沿って学習することとしたものです。

以上が概略となりますが、9月までに行つた事業の状況については、「講座を終えて」の欄に、事業別に記載してある通りでございます。

中央公民館の事業実施状況は以上でございます。

小林公民館長

続きまして小林公民館でございますが、7ページをご覧ください。当初計画で「子ども対象事業」を1事業、「大人対象事業」を5事業計画しましたが、コロナ禍の影響により「子ども対象事業」と「大人対象事業」でそれぞれ1事業を中止しました。

まず、「すごくよく飛ぶ紙ひこうきをつくろう」は、小学生の夏休み中の8月21日に開催を計画しましたが、直前に講師が体調不良となり、やむを得ず中止しました。

次に、「小林カレッジ」は、50歳以上の市民が健康で明るく豊かな生活を送るために、幅広い分野に目を向け、生きがいつくり、健康づくり、仲間づくりの一助として、5月から11月までに6回の講座を計画しております。定員20人で募集したところ23人の応募がありましたが、皆さんの学習意欲を踏まえ応募者全員を受け入れ、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し開催することとしました。

次に、8ページをお願いします。「わが家のマイ・タイムラインをつくろう」は、当館は市の洪水ハザードマップで浸水エリアに位置することから、台風が発生してから川の水が氾濫するまでを時系列でとるべき行動を確認しました。参加者は浸水エリアに想定される利根川沿いにお住まいの方々に、近年の異常気象の多発から改めて避難行動を確認しました。

印旛公民館長

次に、「リンパセラピー講座（夏・秋コース）」は、1コース2日間の2コースを開催し、リンパの知識を学びながら、免疫力の上がる健康な身体づくりを体験しました。

次に、9ページをご覧ください。「ピラティス講座（夏・冬コース）」も1コース2日間の2コースを開催し、胸式呼吸を用いながらストレッチを中心とした動きでインナーマッスルを鍛えながらバランスのとれた身体づくりを体験しました。

次に、「みんなでつくる！小林アンプラグドミニミニコンサート」は、コロナ禍で、地域で音楽活動をする個人・団体が活動を自粛しているため中止としました。

以上が、令和3年度小林公民館の主催事業実施状況でございます。

続きまして、印旛公民館でございますが、資料の10ページをお願いいたします。当初計画では、「子ども対象事業」を6事業、「大人対象事業」を5事業、計画いたしました。しかし、コロナの感染拡大防止対策のため、「子ども対象事業」3事業を中止し、「大人対象事業」に1事業を追加いたしました。

まず、「茶道教室」でございますが、コロナ禍にあつて、飲食を伴う事業は感染リスクが高いと判断いたしまして、中止といたしました。

次に、「親子カヌー教室」でございますが、印旛沼近くの平賀小学校のプールで、親子でカヌーの操縦に挑戦するもので、小学校1年生から3年生の部で24名、小学校4年生から6年生の部で17名の応募をいただき、開催いたしました。参加者からは、本格的にカヌーに乗りたい、次回も参加したいという感想が多く寄せられました。

次に、11ページをお願いします。「夏休み科学教室」でございますが、ミニサンドピクチャーを作って地層を学ぶもので、小学校4年生から6年生を対象に募集いたしまして、12名の応募をいただき、開催いたしました。参加者からは、地層が作られる様子が面白く、科学に関心を持ったという感想が多く寄せられました。

次に、「夏休み工芸教室」でございますが、オカリナと竹かごを作りあげる喜びを味わうもので、小学生を対象に募集をいたしまして、それぞれ11名の応募をいただき、開催いたしました。参加者は、作品を完成することができ、物づくりの楽しさを実感しておりました。

次に、12ページをお願いします。日本の伝統文化である書道を通して、自分の手で書くことの重要性を学ぶ「冬休み書初教室」と人形劇の上映と読み聞かせを体感する「人形劇を楽しもう」でございますが、予定していた講師が活動を自粛しているため、中止といたしました。

次に、13ページをお願いします。「大人対象事業」でございますが、まず、「癒しのアロマ教室」では、植物の力を感じる私だけの香りの全身化粧水と癒しのバスソルトを作成するもので、11名の応募をいただき5月26日に第1回目を開催いたしました。参加者からは、自然の草花の香りを通して、心身の不調を和らげる方法を学ぶことができたという感想が多く寄せられました。第2回目は、12月23日に開催する予定でございます。

次に、「初心者のための絵手紙教室」でございますが、草花や身近なものを題材として、絵手紙の描き方を学ぶもので、9名の応募をいただき、6月26日と7月3日に開催いたしました。参加者からは、参加者同士の親睦を深めることができ、今後も続けたいという感想が多く寄せられました。

次に、14 ページをお願いします。「初めてのヨガ」でございますが、ヨガの基本を学びながらメンタルバランスの重要性について学ぶもので、14名の応募をいただき、9月から4回コースで、開催しているものでございます。

次に、「みんなのいけばな教室」でございますが、生け花を通して礼儀や作法の向上を図るもので10月から2回開催するものでございます。

次に15 ページをご覧ください。「大人の工芸教室」でございますが、竹かごを創作することで、創意工夫を促し、作品を作りあげる喜びを味わうもので10月に開催するものでございます。

次に「竹あかり教室」でございますが、竹林の整備で伐採した竹を有効活用して、竹灯籠を創作し、自然環境を維持することの重要性を学ぶもので、12月に開催する予定でございます。

以上が、印旛公民館の事業実施状況でございます。

本埜公民館長

続きまして、本埜公民館でございますが、資料の16 ページをお願いいたします。当初計画では「子ども対象事業」を7事業、「大人対象事業」を3事業、「共催事業」2事業計画いたしましたが、コロナの感染拡大防止対策のため「子ども対象事業」5事業を中止し、「子ども生け花教室」の回数・時期を見直しするとともに、大人対象事業の1事業を中止し、実施することといたしました。

まず、「子ども和太鼓教室（低学年コース）」及び「子ども和太鼓教室（中高学年コース）」でございますが、回数や実施月を見直し、実施を検討していましたが、感染者数が増えていた時期で、講師からの希望もあり相談の上、中止といたしました。

次に17 ページをお願いします。「子ども茶道教室」でございますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として館内での飲食を禁止している中で、飲食を伴う内容での実施は難しいことから講師と相談の上、中止といたしました。

次に「子ども生け花教室」でございますが、コロナ禍にあつて定員を10名と絞り9月・10月の2回コースで募集をし、6名の参加をいただきましたが、9月は緊急事態宣言が発令されていたため、10月・11月と時期を見直し開催することとしました。

次に、18 ページをお願いします。「書初めひろば」でございますが、書道を通して、姿勢や心の落ち着きなどを自ら体験して学ぶもので、12月19日に開催する予定でございます。

次に、「わくわくスポーツ教室」でございますが、コーディネーショントレーニングを実施し、適応力や柔軟な考え方の育成につなげるもので、10月～1月の3回コースで開催する予定でしたが、講師である学生の校外での活動制限もあったため、相談の上、中止といたしました。

次に、「どきどき冒険隊」でございますが、学区・学年を超えた集団による共通体験を通し、自主性・協調性を学ぶもので、12月～2月の3回コースで開催する予定でしたが、コロナ禍での学校の運営指針を加味すると、学区・学年を超えた館外活動等は難しいと判断し、中止といたしました。

次に19 ページをお願いします。「防災講座わが家のマイ・タイムラインをつくろう」でございますが、台風や大雨による水害など、これから起こるかもしれない災害に対し、自分自身の防災行動計画（マイ・タイムライン）を作成し、余裕をもって安全に避難するための知識を習得するとともに、防災意識の向上をめざすもので、

11名の応募をいただき、7月14日に開催いたしました。参加者からは様々な質問があげられ、災害に対する意識の高さを感じました。

次に「野鳥観察会」でございますが、本埜地域に見られる野鳥を多くの市民に紹介していき、自然環境の保護・保全への関心や理解を深める機会を提供するもので、11月27日に開催する予定でございます。

次に「料理教室」でございますが、新型コロナウイルス感染拡大防止の一環として館内での飲食を禁止している中で、飲食を伴う内容での実施は難しいことから講師と相談の上、中止といたしました。

次に、20ページをお願いします。「ふるさと再発見」でございますが、本埜地域に残されている豊かな自然環境を子どもから大人まで多くの市民に紹介していくもので、7月2回、11月1回、計3回実施するものです。7月3日の「蝶とトンボの観察会」、7月10日の「ホタル生息地で観察会」は、両事業とも定員20名の応募がありましたが、両日とも天候不良により中止になりました。秋の自然観察会は、11月6日に開催する予定でございます。

次に「わら細工講座」でございますが、わら細工により伝統的風習の意味や慣わしなどにふれて、物づくりのよろこびを感じてもらうもので、12月1日に開催する予定でございます。

以上が本埜公民館の主催事業実施状況でございます。

中央駅前地域交流館長

続きまして、中央駅前地域交流館でございますが、当交流館につきましては、公民館、児童館、子育て支援センター、老人憩いの家と類似した機能を有する施設として、各種事業を実施しております。

資料21ページをお願いします。主催事業一覧の「子ども対象事業」の「自然体験ツアー」及び「大人対象事業」の「料理講座」でございますが、新型コロナウイルス対策及び講師の都合により開催を見送り、中止といたしました。また、「親子講座」を「ベビーマッサージ」、「ベビーダンス」、「親子エクササイズ」の3事業に分割し、それぞれ主催事業と位置づけました。

これによりまして、子ども対象事業14事業、大人対象事業9事業、共催事業1事業を行う予定となっております。

それではまず「子ども対象事業」の主なものを、ご説明させていただきます。

22ページの「わくわく探検隊」でございますが、小学校4年生から6年生を対象として、学区や学年を超えた仲間と様々な体験をしながら、自律性や協調性などを学ぶことを目的に、6回のコースで計画しております。参加者につきましては、定員15名のところ、19名の応募があり抽選での決定となりました。10月2日の第4回については台風の影響を考慮し中止といたしました。現在まで3回行っており、参加者同士の交流を深めながら、思い出作りにつながっているところでございます。

次に「科学あそび」でございますが、対象を小学校4年生から6年生として、8月18日に実施いたしました。身近な科学の楽しさや関心を持ってもらうため、また、夏休みの自由研究のヒントにもつなげられるように実験や工作を行うことを目的に、今年は「ビニールの傘袋を使ってロケットづくり」をテーマとして行いました。講師に千葉市科学館の職員をお招きし丁寧なご指導をいただきました。参加者は上手に作成することができ、科学の楽しさを実感しておりました。

次に、26 ページの児童健全育成事業の「あそびのポケット&スペシャル」でありますが、こちらは簡単で身近な素材を使った工作や家庭ではあまり経験できないことを体験しながら、友達との交流を図ることを目的に行っております。

現在、第4回まで実施済みですが、身近な素材を使った工作を3回とドラムサークル体験を行う中で子どもたちの交流が図られておりますが、毎回、子どもたちへの周知が難しい状況となっております。今後、より多くの児童に周知できるよう工夫していきたいと考えております。

次に「大人対象事業」の主なものをご説明させていただきます。

資料27 ページの中段からとなります。まず「はつらつクラブ」でありますが、20歳以上の市民を対象として、運動や自然観察等の様々な体験を通して心と体で楽しくふれあい、生きがいつくり、仲間づくりのきっかけとする目的で、様々な講座を予定しておりました。しかしながら、受け入れ先や講師の都合等で見直しを余儀なくされ、コロナ禍においても実施できる講座を企画するのに大変苦慮いたしました。参加者につきましては、広報紙で募集し、定員15名のところ、31名の応募があったため、抽選により決定いたしました。

現在まで、アロマジェルポット作り、印旛歴史民俗資料館見学、健康体操を行いました。今後、防災の備え、陶芸体験、印西の観光についての講座を行い、年間を通して普段の生活でなかなか体験できない活動を行う予定で、生きがいつくりや仲間づくりのきっかけになるものと考えております。

次に28 ページ「印西新発見バスツアー」でありますが、市内の旧跡等をバスで巡り、新たな発見や歴史を学び、ふるさと印西の良さを実感していただくもので、9月29日に松虫寺と印旛沼公園に出向きました。緊急事態宣言下での実施となったことやバスでの移動となることから、定員を減らすなどの感染対策を徹底して行いました。コロナ禍で長期にわたる行動制限があったこともあり、出かけることへの需要が高く、大変多くの申込をいただきましたが、定員を10名としたため、申込数が数分で定員に達してしまいました。

ツアー当日は、松虫寺では住職による松虫寺伝説や木造薬師如来像についての説明を受け、印旛沼公園では生涯学習課長から師戸城跡の公園について、現在の地図と中世の概略図を見比べながら城の役割等についての説明を受け、参加者は真剣に耳を傾けておりました。参加者からは、印西の魅力の発見につながったとの感想をいただき大変好評な事業となりました。

次に「体験講座」でありますが、こちらは体験を通して趣味を持つきっかけを作るものとして、今年度新規に立ち上げた事業でありますが、年度当初は「苔玉づくり」の1講座を予定しておりましたが、「しめ縄づくり」の体験講座も加え、実施する予定でありますが。

次に28 ページ下段から29 ページにかけての「ベビーマッサージ」、「ベビードダンス」、「親子エクササイズ」でありますが、これは、当初「親子講座」と題していた事業を3事業に分割して行うこととしたものであります。

これらの低年齢向けの事業につきましては、事業の参加者に交流館の子育てルームの利用のきっかけづくりとして、また、親子でふれあいながら遊ぶことの楽しさを感じながら利用者同士の友達作りの場となるよう実施している事業でございます。

次に30 ページ下段の「憩いの家開放事業」でありますが、こちらは高齢者の



レクリエーションや仲間づくりの場として、憩いの家を開放し、カラオケを楽しんでいただいているものでございます。カラオケという性質上、コロナ対策には特に注意を払って施設を開放し、利用者にも感染対策の徹底にご協力をいただいております。

最後に、31 ページの共催事業「ものづくり講座」につきましては、「印西おもちゃの病院」との共催事業として行っているもので、小学校4年生から6年生を対象に、年間10回コースとなっており、今年度からの新規事業でございます。参加者につきましては、定員13名のところ、41名の応募があり抽選での決定となりました。現在、第6回まで実施済みですが、参加者からは好評をいただいております。年間を通して行うことで、子どもたちの技術能力や創造性の向上が期待されているところでございます。

以上が中央駅前地域交流館の事業実施状況でございます。

中央公民館長

続きまして32ページをご覧ください。「団体育成事業」でございますが、公民館等を利用している団体に対する指導及び支援を行うものでございます。しかしながら、コロナ禍にあって、サークル活動への影響は未だに続いているものと考えています。そのようなことから、各館のサークル連協が主体となって、毎年開催しておりました「まつり」についても、昨年同様、すべての公民館等では中止となりました。やはり、学習成果の発表の場となる一大イベントではありますが、コロナ禍にあって各団体の活動に制限があったことや人流を抑えるということなどから、中止の判断となったものでございます。

また、5月から、そうふけ公民館の大規模改修工事の着工に伴う、そうふけ公民館利用サークルの活動支援でございますが、他の公民館等において定期利用者との調整を図ったうえで、ご利用いただいております。なお、記載のとおり中央公民館に7団体、小林公民館に4団体、印旛公民館に1団体、本埜公民館に1団体、中央駅前地域交流館に3団体、その他施設に4団体が利用している状況です。

参考といたしまして、各公民館等の利用サークル連協に加盟している団体数は、記載のとおりとなっております。

次に「個人学習支援事業」でございますが、基本的に公民館等は組織的な教育活動を行う場として規定されておりますことから、団体での使用が基本となりますが、市民の個人学習の推進を図ることから、学習の場の提供を行っております。中央公民館、印旛公民館及び中央駅前地域交流館では常設の学習室を設置しておりますが、他の公民館では事業に差し支えない範囲で学習室の提供を行っております。

表は今年度の利用状況となっております。令和3年度上半期の利用者は、全体で1,091人でした。ちなみに令和2年度上半期は4月及び5月はコロナの影響で施設を休止いたしましたので6月から9月分となりますが全体で1,040人の利用でした。なお、今年度は、そうふけ公民館の大規模改修工事の影響もあり、各年度様々な要因によって一概に比較することはできませんが、一定の需要はあるものと考えており、今後も個人学習の場の提供は継続していきたいと考えています。

次に「貸館事業」でございますが、利用サークルや様々な団体の皆さんに施設をご利用いただいております。しかしながら、コロナ禍にあって施設側といたしましても、各部屋の利用定員を概ね5割とすること、食事を伴う活動は行わないこと、利用者の体調管理のための利用者名簿の提出を求めること等、利用される皆様にご

	<p>不便をおかけしておりますが、感染拡大防止対策を講じつつ運営しているところでございます。</p> <p>表をご覧ください、上の表は利用者数で下の表は1日を午前・午後・夜間の3コマに分けて、その利用率を算出したものとなっております。</p> <p>令和3年度上半期の利用者総数は53,774人でした。なお、令和2年度上半期の利用数は、先ほど申し上げたように施設の休止等もあり一概に比較分析はできませんが全体で33,878人の利用でしたので、今度上半期の利用者数は約3割強の増となっております。</p> <p>現在、ワクチン接種も進み、コロナ感染者も抑えられてきているようですが、第6波が到来する可能性は否定できません。そのようなことから、感染防止対策は当面継続していきたいと考えております。</p> <p>なお、10月22日に市対策本部会議が開催され今後の方針が示されたところでございます。その方針を参酌いたしまして、新たに「新型コロナウイルス感染減少期における公民館及び地域交流館の運営方針」を定め取り組むこととしております。この内容については、その他のところでご報告いたします。</p> <p>以上が、令和3年上半期公民館等事業実施状況でございます。</p>
議長	<p>説明が終わりました。各館から主催事業の説明と全体的に団体育成事業、個人学習支援事業及び貸館事業の説明を受けました。コロナ感染拡大の中で事業を中止したり回数等を減らしたり工夫をして実施されているものと思います。事業内容の説明を受けましたが、何か質疑等はございますか。</p>
委員	<p>小林公民館の「小林カレッジ」でリンパマッサージというところで21名が参加しているとありますが、どのような部屋で開催しているのでしょうか。</p>
小林公民館長	<p>このカリキュラムにつきましては、2階の和室で行っております。2部屋を開放して48畳分となります。また、募集定員も12名としておりますので、密にもならず広く使用しています。</p>
委員	<p>高齢者クラブでもやってみたいと考えていますが、どの程度の広さで行っているのかを確認したものです。</p>
議長	<p>ほかに質疑はありませんか。</p> <p>質疑等が無いようですので「(1) 報告事項 令和3年度上半期公民館等事業実施状況について」は終了します。</p>
議長	<p>続きまして (2) 審議事項「令和4年度公民館等事業実施方針について」を議題とします。事務局の説明を求めます。</p>
中央公民館長	<p>審議事項「令和4年度印西市立公民館等事業実施方針について」説明いたします。</p> <p>教育委員会では「印西市教育振興基本計画」を定め、教育行政に取り組んでいるところでございます。なお、現行の教育振興基本計画の計画年度は令和3年度までとなっており、現在、令和4年度から令和7年度を計画期間とする第2期印西市教</p>

育振興基本計画の策定に着手しているところでございます。

今回、令和4年度の事業実施方針についてご審議いただきますので、現在、策定を進めております、第2期振興基本計画に沿った形で施策体系を記載しております。なお、まだ計画の策定段階でありますので確定したものではありませんが、振興基本計画の見直しにあたりましては、基本理念及び基本方針は前計画を踏襲することとされております。

従いまして、新計画におきましても、基本理念は現行計画と同様「だれもが輝き、ともにばたく、いんざいの学び」としており、

1. 学校・家庭・地域が連携強化し、未来を拓く子どもを育む教育の推進
2. 市民が学びあい・活かしあい、地域に誇りと愛着が持てる学びの推進
3. すべての市民の健やかな心と体を育む学びの推進

この3つを基本方針としております。

この基本方針を実現するために、4つの基本目標を掲げております。

1つ目が「知・徳・体の調和のとれた教育を推進し、生きる力を持ち未来を拓く子どもを育む」

2つ目が「子どもたちが安全で安心できる生活を送り健やかに成長できるよう、教育環境を充実する」

3つ目が「市民が様々な文化や芸術に触れることができるとともに、先人の残した文化遺産の価値や意義を次世代に適切に継承する」

4つ目が「市民が生涯を通して学ぶことができるとともに、地域で子どもたちを守り育てる。」としており、このような体系で教育行政を推進していくこととしております。

なお、公民館等の事業につきましては、基本目標の4、主な取組1「多様な学習機会の提供」に位置付けられております。これらを踏まえまして、公民館等に求められる機能を列記してあります。

まず、1として「学習情報の提供」でございます。これは、公民館等におきまして学習活動を支援し促進するために、どのような学習需要があるのかといった把握に努めるとともに、公民館等は的確な学習情報を提供する発信拠点となることが求められると考えております。

2点目として「地域の活動拠点としての役割」でございます。これは、日常生活におきまして地域社会とのつながりが少なくなっていると言われておりますが、そのような状況の中、公民館には地域の活動拠点の一つとして地域連帯意識の形成に資する役割が期待されていると考えています。

3点目が「多様な学習機会の提供」でございます。これは、生涯学習は市民の自由意思に基づき、人生のあらゆる時期に、必要に応じて自分に適した方法を自ら選択し学習するものですが、公民館等には、それらに対応するためにも多様な学習機会を提供することが求められると考えています。

4点目が「サークル等への支援」でございます。これは、市民の自発的な学習活動を奨励又は支援していく一つ的手段として、公民館には自主的に学習するサークルの結成のお手伝いや、活動に対する側面的な支援を行っていくことが求められていると考えています。

5点目は「学習活動成果の場の提供」でございます。これは、自己の学習成果をどのように地域に還元するか、また、学習意欲を高めるために、公民館等にはそれら

を側面から支援することが求められると考えています。

6点目は「他の関係機関等の連携」でございます。これは、多様な学習機会の提供や学習情報の発信を行っていくには、他の公民館との連携はもちろんのこと、多種多様な学習機関等との連携協力を積極的に行っていく必要があると考えています。以上の6項目が公民館等に求められる機能であると考えています。

これらに基づき、令和4年度の公民館及び交流館の事業方針でございますが、大きく4つの柱を中心に公民館等の運営を行っていきたいと考えております。

1点目としては、「主催事業の実施」ですが、基本的には、従来通り「子ども対象事業・大人対象事業」の年代にあわせた事業を展開することとし、立案にあたっては、各館において、趣味的なものであったり、各公民館の設置されている地域の特色などを生かした事業の展開であったり、社会教育関係団体等との共催事業を実施して参りたいと考えています。

なお、前期公民館運営審議委員から、主催事業の実施方針的なものご設定について提案を受けておりました。それを受けまして、令和4年度の主催事業の方針として、年代にあわせた事業展開は継続することとし、全館共通に「健康」をテーマに据えて、事業立案をすることといたしました。しかしながら、健康というテーマを各種事業に取り入れるものだけではなく、それらを補完する形で、趣味的な内容の事業、施設の設置されている地域特性を生かした事業や関係団体等との共催事業を展開するなどして、主催事業体系を構築していきたいと考えています。

2点目として「団体育成事業」ですが、ここに4項目列記してありますが、各施設を利用しているサークル等に対しまして、必要な指導及び支援をしてみたいと考えております。先ほど、令和3年度の上半期事業実施状況でも説明いたしました。が、保全改修工事を実施する場合などは、施設が長期間休館することとなります。この間、当該施設を活動拠点とするサークル等に対して、活動場所の確保等に対して支援していくことなども求められます。令和3年度は「そうふけ公民館」、予定ですと令和4年度は「小林公民館」、令和5年度は「本埜公民館」におきまして保全改修工事が見込まれますので、利用サークルが円滑に活動できるよう支援していきたいと考えております。

3点目として「個人学習支援事業」ですが、本来、公民館は、組織的な活動を行う施設ではありますが、市民の個人学習の推進を図るため、各施設の各種事業に差し支えない範囲で、個人学習の場の提供を行うものでございます。

常設の学習室は、中央公民館、印旛公民館及び中央駅前地域交流館ですが、現在、大規模改修工事中のそうふけ公民館にも常設の学習室を整備することとなっております。また、本埜公民館では、保全改修工事に向けた設計業務を行っておりますが、常設の個人学習室を設計に反映することとしております。

このことによって、市内の公民館等におきましては、小林公民館を除き、すべての施設に常設の個人学習室が整備されることとなります。なお、小林公民館におきましても、令和2年度に保全改修工事の設計を実施し個人学習室の設置について検討は致しましたが、小林公民館は部屋数が少なく常設の学習室を設置することは難しかったため、常設の個人学習室は設置せず、今後も公民館事業に差し支えない範囲で、個人学習室の開放を行っていくこととしております。

4点目として「貸館事業」ですが、市民の様々な活動の場を提供いたしまして、自発的な学習や交流等を通じて、地域コミュニティの醸成を図ってまいりたいと考え

	<p>ております。</p> <p>以上が審議事項令和4年度印西市立公民館等事業実施方針でございます。</p>
議長	<p>ただ今、令和4年度公民館事業実施方針の説明がありましたが、これは現在、策定中であり、印西市教育基本振興計画の中で規定されていく内容を抜粋したものであると思いますが、何か質疑等はございますか。</p>
委員	<p>個人学習支援事業ですが、どのような内容のものでしょうか。また使用条件等はあるのでしょうか。</p>
中央公民館長	<p>個人学習支援事業は、施設の一部を開放して、開館時間中に市民の方々が学習室において、自習というか個人的な学習をしていただくものです。現在コロナの影響によって定員は減らしてありますが、通常では15名程度が利用できるものです。</p>
委員長	<p>印西市教育振興基本計画は、現在第2期計画を策定中とのことですが、今の進行状況はどの程度となっているのでしょうか。</p>
鈴木生涯学習課長	<p>先週、振興基本計画策定委員会が開催され、部内4課の事業計画等について検討等が行われております。ほぼ骨子がまとまり、これから庁議に諮りパブリックコメントの実施を経まして年明けに策定委員会を開催して、今年度内には策定される予定となっております。</p>
議長	<p>他に質疑はありませんか。質疑や意見等が無いようですので、令和4年度公民館等事業実施方針については、説明のとおり進めていくことで、ご了承願います。</p> <p>それでは、以上を持ちまして、本日予定しておりました議事は全て終了しましたので、議長の任を解かせていただきます。スムーズな議事進行にご協力をいただきまして、ありがとうございました。</p>
進行	<p>その他でございますが、皆様方にお配りしております「新型コロナウイルス感染減少期における印西市立公民館及び中央駅前地域交流館の運営方針」について、説明をさせていただきます。</p>
中央公民館長	<p>「新型コロナウイルス感染減少期における印西市立公民館及び地域交流館の運営方針」について説明いたします。</p> <p>現在、コロナ禍における、公民館及び交流館の運営については、令和2年5月に策定した「印西市立公民館及び中央駅前地域交流館の再開方針」に基づき運営してまいりました。この再開方針は、令和2年4月から6月8日まで新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として公民館及び交流館を休止しておりましたが、再開するにあたって、使用制限等を定めたものです。</p> <p>しかしながら、昨今、ワクチン接種も進み、国民の予防対策等によって、テレビ等の報道でもあるように感染者もだいぶ減ってきております。そのような中、10月22日に開催された市の対策本部では、国や県の動向を見ながら、各種制限等を解除する方向性を示したところでございます。</p>

	<p>そこで、公民館及び地域交流館では、新型コロナウイルスの感染状況を勘案し、新たに「新型コロナウイルス感染減少期における運営方針」を定め、施設運営をしていくことといたしました。</p> <p>新たな運営方針でございますが、お配りいたしました資料をご覧ください。</p> <p>1として「基本的感染予防対策」でございますが、施設利用者側及び施設管理者側では継続して予防対策を講じることといたしました。</p> <p>施設利用者側としては、自己の健康管理を継続して実施するとともに、正しいマスクの着用をはじめ、他人にうつさない、うつらないための自己予防対策を行っていただくこと。施設側では、施設を安全に提供するための措置を行っていくこととしております。</p> <p>2として「感染減少期における緩和対策」でございますが、いままで、使用定員については概ね5割としていた制限及び飲食を伴う活動の制限を行ってまいりましたが、これらを解除することといたしました。しかしながら、コロナウイルス感染の可能性が、すべてなくなったものではありませんので、制限の解除は致しますが、使用にあたっての留意事項を定め感染減少期における予防対策を講じながら解除することとしたものです。留意事項については、記載してある通りとなっております。</p> <p>また、活動内容によっては、一般的に感染リスクが高まる活動もありますので、こういった内容の活動をする団体については、一般的な感染予防対策に限らず、利用団体においても活動内容等を工夫するなどして、感染リスクを極力減らす努力をお願いすることとしております。</p> <p>その他として、事務手続きについて、現在、定員の制限を加えた上で許可していますが、緩和対策に基づいて、使用する部屋の変更等の申し入れがあった場合、これを認めることとし、使用料が納付されている場合は、一旦、還付することとし、新たに使用許可申請を行い、使用料金を納付してもらおう取り扱いとすることといたしました。</p> <p>また、各公民館等の主催事業についても、新型コロナウイルス感染に伴い中止した事業について、今一度、実施の可能性を検討するとともに、これから実施する主催事業についても、定員やカリキュラム等について、可能な範囲で見直すこととしたものでございます。なお、これらは、令和3年11月2日から施行するものでございます。</p> <p>以上が、新型コロナウイルス感染減少期における施設運営方針内容でございます。</p>
進行	説明が終わりましたが、何かご質問等ございますか。
委員	飲食が可能となったとのことですが、どういった場合を想定していますか。
中央公民館長	調理実習室の利用にあたって、以前は調理のみで飲食は中止していましたが、これからは、基本的には感染予防対策を講じていただき、解除するものです。また、午前から午後まで1日継続して使用する場合などもあります。可能な限り活動エリアと飲食エリアを分けるなど工夫して使用いただきたいと思います。
委員	施設の利用制限が緩和されたのは、コロナが下火になってきたことが大きな理由であり、よい傾向であると思えますし、公民館側でも工夫しながら使用できるよう、

	<p>いろいろ考えていることが表れているように思います。この取り組みの中で、感染リスクの高い活動を行う団体の留意事項として、団体において検討するようになっていきます。基本的には活動する団体自らが感染予防対策を行うことは原則であると思いますが、施設側では、それらの団体に対して適切な指導をすることも責務ではないでしょうか。そこで、使用団体に対して、どのような指導を行っていくのか。またそれらの活動をご覧になってから指導するのか活動前に指導するのかをお聞きします。</p>
中央公民館長	<p>公民館は様々なネットワークを持っています。例えば全国公民館協議会への問い合わせであったり、近隣市町とは公民館連絡協議会を構成していますので、同様の活動を行っている団体も数多くありますことから、その施設での指導内容などの情報を提供させていただいたりアドバイスをしたりすることができます。なお、その指導については、やはり、活動をする前に行っていきたいと考えています。</p>
委員	<p>是非、様々な団体がコロナ対策を講じながら活動できるよう、指導していただければと思いますので、よろしくお願いします。</p>
委員	<p>利用者名簿の提出については、これからも求めるのでしょうか。確認をしたいと思います。</p>
中央公民館長	<p>新型コロナウイルスの感染の可能性がすべてなくなったものではありませんので、この取り扱いは継続していきたいと考えています。</p>
進行	<p>他にご質問等ございますか。無いようですので、委員の皆様から何かございましたらお願いいたします。</p>
進行	<p>以上を持ちまして、令和3年度第1回印西市公民館運営審議会定例を閉会とさせていただきます。 長時間にわたり、慎重審議を賜りありがとうございました。</p>
委員長	<p>今年度、次回の審議会が予定されていると思いますが、もし、お考えがあればお示しいただきたいのですが。</p>
中央公民館長	<p>次回につきましては、令和4年3月の中旬又は下旬に開催したいと考えております。</p>

#### 会議資料

- ・会議次第（A4 1枚）
- ・印西市公民館運営審議会委員名簿
- ・令和3年度第1回公民館運営審議会定例会席次図
- ・令和3年度第1回印西市公民館運営審議会定例会資料

#### （1）報告事項

令和3年度上半期公民館等事業実施状況について

(2) 審議事項

令和4年度公民館等事業実施方針について

・その他

新型コロナウイルス感染減少期における印西市立公民館及び中央駅前地域交流館の運営方針

令和3年度第1回公民館運営審議会会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和3年11月4日

印西市公民館運営審議会

署名委員 嘉藤 弘子